

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年12月31日 期末配当金の基準日 毎年12月31日 なお、中間配当を実施するときの基準日は6月30日です。 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話番号0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
証券コード	4579
上場取引所	東京証券取引所 JASDAQ(グロース)
公告方法	電子公告を当社ホームページにて行います。 やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、 公告いたします。(https://www.raqualia.co.jp/)

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先については、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4579

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

 QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。  
QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で簿謝(図書カード500円)  
を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## ホームページのご案内

### ホームページをリニューアルしました

当社ホームページでは、皆様に当社を知っていただくため、最新の各種情報を発信しております。是非ご覧ください。

<https://www.raqualia.co.jp/>



ラクオリア創薬株式会社

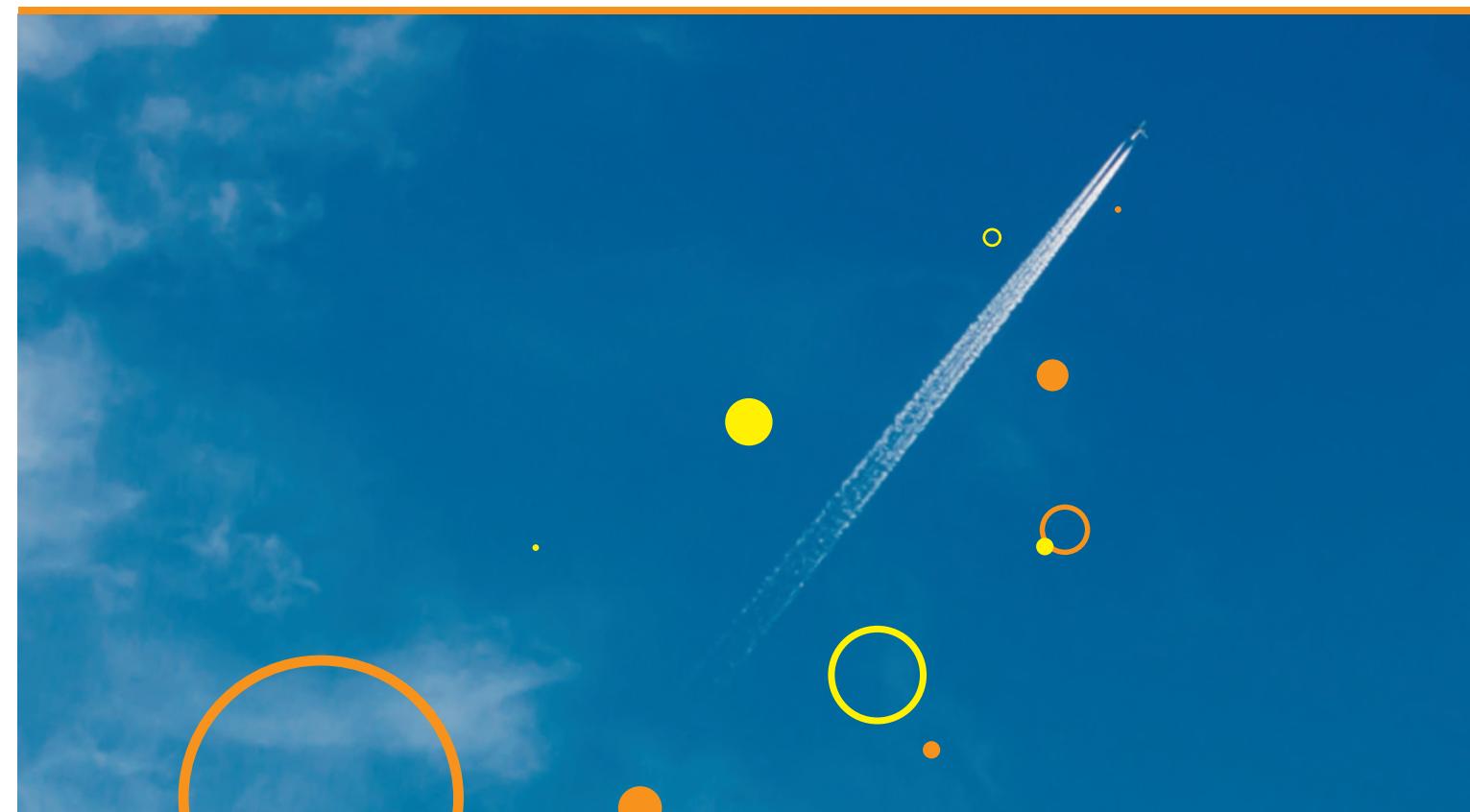
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目21番19号 名駅サウスサイドスクエア8階  
TEL:052-446-6100 FAX:052-565-0700



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

# 株主のみなさまへ

第11期 株主通信 2018年1月1日 2018年12月31日



RaQualia  
innovators for life

証券コード：4579

ラクオリア創薬株式会社



**ラクオリア創薬で働く一人ひとりが、  
「Life(生命、生きるもの、人生)」の尊さを思い、  
創薬を通じて人々の健康に貢献します。**

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに2018年度の事業の概況をご報告申し上げます。株主の皆様には  
今後も当社グループにご期待いただくとともに、益々のご支援ご鞭撻  
を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

2019年3月

代表取締役 **谷 直樹**

**2018年度の業務総括**

創業10周年となる当事業年度は、ペット用医薬品「GALLIPRANT®」  
が米国で想定以上の売り上げ進捗をみせたほか、同「ENTYCE®」  
は着実に地歩を固め、導出先からのロイヤルティ収入が当社経営の  
ベースを支えました。さらに、当社の主力の導出済みプロジェクトである  
胃食道逆流症治療薬「tegoprazan」が韓国で7月に製造販売承認  
を取得し、ヒト用医薬品の販売に向け大きく前進しました。

また疼痛領域や消化器領域におけるイオンチャネルの共同研究が  
順調に進展し、収益に結び付けることができたほか、名古屋大学をは  
じめとするアカデミアとの共同研究および知的財産の強化も活発  
化、大いなる飛躍に向けて手ごたえを感じております。

この結果、2018年12月期連結累計期間の業績は、事業収益744  
百万円、営業損失1,075百万円、経常損失1,064百万円、親会社株  
主に帰属する当期純損失1,104百万円となりました。

**2019年度の取り組み**

2019年12月期は、パートナー企業であるCJヘルスケア社が  
「tegoprazan」を韓国で発売し、当社も新たな成長ステージに踏み出し  
ます。「K-CAB®」「GALLIPRANT®」「ENTYCE®」の拡販に伴うロイ  
ヤルティ収入の増加に加え、製薬メーカーへのライセンス、導出先企業  
との協業、共同研究の進展等により、一時金の取得を目指します。

一方で、業務効率化と継続的な経費削減で損益分岐点を下げ、収  
益体質の強化を進めます。これらの施策により、創業以来初の営業損  
益の黒字転換を成し遂げる計画です。

また、アカデミアとの連携を一段と強めるほか、新会社ラクオリア イ  
ノベーションズ(株)を通じた「新薬の種」や「事業の種」の事業化を模索す  
る中で新薬の創出に向け知見を養い、当社グループの新たな社会的價  
値創造と企業価値最大化に尽力してまいります。

トピックス

成長に  
向けた  
活動・進展

承認取得

2018年1月

犬の変形性関節症に伴う  
痛みの治療薬  
GALLIPRANT®

アラタナ【欧州】

2018年7月

胃食道逆流症治療薬  
tegoprazan

CJヘルスケア【韓国】

進展

2018年2月

下部消化器症状治療薬  
5-HT<sub>2B</sub>拮抗薬  
英国フェーズ1試験終了

2018年10月

胃食道逆流症治療薬  
tegoprazan  
中国でのマイルストーン達成  
大規模臨床試験へ

CJヘルスケア【中国】

イオンチャネル創薬

2018年3月

消化器領域での特定の  
イオンチャネルを標的とした  
共同研究での  
マイルストーン達成

EAファーマ

2018年3月

新規P2X7受容体拮抗薬  
全世界を対象とした  
ライセンス契約を締結

旭化成ファーマ

共同特許出願

2018年4月

名古屋大学と  
新規心不全治療薬に関する  
共同特許出願

その他

子会社テムリック

2018年12月

急性骨髄性白血病(AML)・  
骨髄異形成症候群(MDS)  
治療薬「タミバロテン」  
アザシチジンとの併用  
フェーズ2試験で良好な  
初期データ発表

シロス【米国】

新規設立

2018年4月

名古屋大学に  
「ラクオリア創薬  
産学協同研究センター」  
設置

2018年12月

ラクオリア イノベーションズ  
株式会社設立

● 主な導出済みプログラム

→ : 2018年の進捗

プロジェクト	化合物 (一般名)	主適応症	対象 地域	探索	前臨床	臨床試験			承認 申請	承認	販売
						フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	胃食道逆流症	韓国	○	○	○	○	○	○	○	● 承認
			中国	○	○	○	○	○	○	○	● 実施中
			ベトナム	○	○	○	○	○	○	○	○
ジプラシドン	RQ-00000003 (ziprasidone)	統合失調症	日本	○	○	○	○	○	○	● 実施中	

● 導出準備プログラム

プロジェクト	化合物 (一般名)	主適応症	対象 地域	探索	前臨床	臨床試験			承認 申請	承認	販売
						フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	胃食道逆流症	米国 日本 欧州(東欧除)	○	○	○	○	○	○	○	● 終了(米国/日本)
5-HT <sub>4</sub> 部分作動薬	RQ-00000010	胃不全麻痺 機能性胃腸症 慢性便秘	全世界	○	○	○	○	○	○	○	● 終了(英国)
5-HT <sub>2B</sub> 拮抗薬	RQ-00310941	下痢型過敏性 腸症候群 (IBS-D)	全世界	○	○	○	○	○	○	○	● 終了(英国)
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	胃不全麻痺 機能性胃腸症 術後イレウス	全世界	○	○	○	○	○	○	○	● 検討中
グレリン受容体作動薬	RQ-00433412	がんに伴う食欲不振 悪液質症候群	全世界	○	○	○	○	○	○	○	● 検討中
TRPM8遮断薬	RQ-00434739	神経障害性疼痛 (化学療法起因性 冷アロディニア)	全世界	○	○	○	○	○	○	○	● 検討中

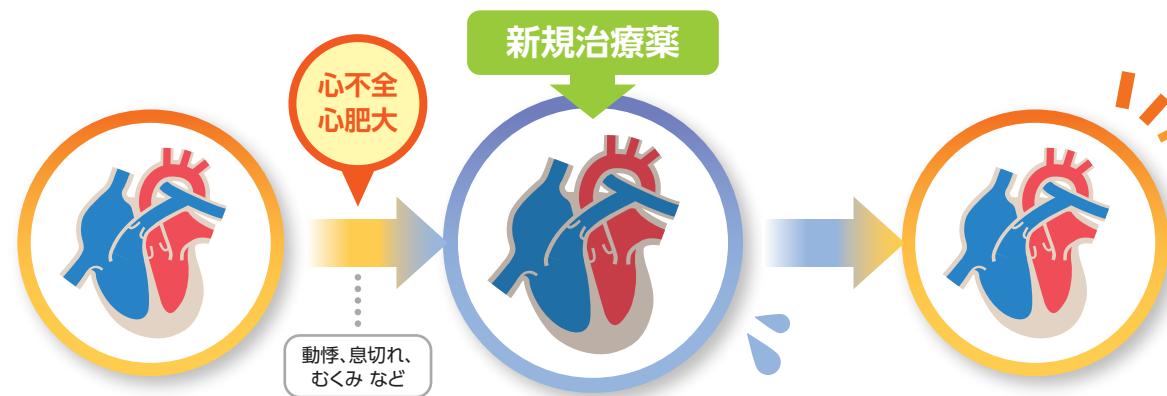
Column

コラム

産学  
連携

名古屋大学と心不全治療薬に関する  
共同特許を出願

2018年12月期には、名古屋大学との産学連携による創薬研究で具体的な成果が得られました。当社は名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座循環器内科学(室原豊明教授・竹藤幹人助教)と2015年10月に「心不全治療薬の開発を目的とした特定タンパク質に対する選択的阻害剤」に関する共同研究契約を締結し、共同研究を進めてまいりました。当社の創薬プラットフォームを効率的に活用することで同タンパク質を選択的に阻害する化合物群を見出し、2018年4月に名古屋大学と当社は新規心不全治療薬に関する物質特許を出願いたしました。



▶▶ どんな「治療薬」が期待できるの？

従来とは全く異なるメカニズムで効果を発揮する新しい心不全治療薬の開発につながることが期待されています。心不全とは、様々な原因により心臓のポンプとしての機能が低下して、体に十分な血液を送れなくなった状態を指します。高齢化社会を迎える我が国では、心不全治療の重要性が増していくと考えられています。これまで様々な治療法が開発されてきましたが、いまだに慢性心不全はがんとならぶ日本人の死因上位で、治療法がまだまだ充足していないのが現状です。

## 連結財務ハイライト

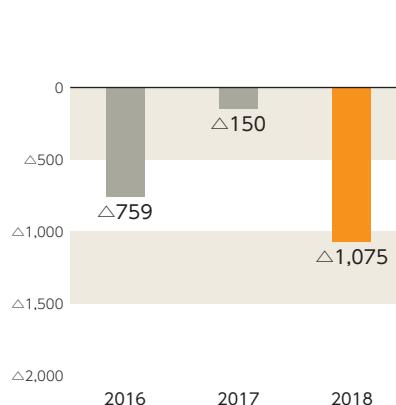
### 事業収益

(単位:百万円)



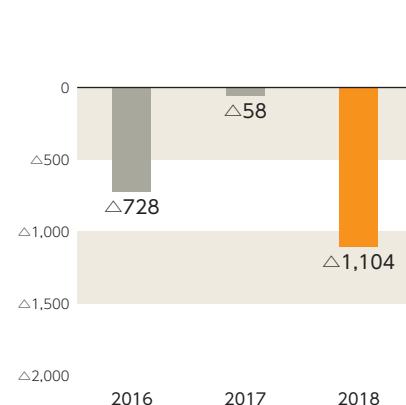
### 営業利益

(単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



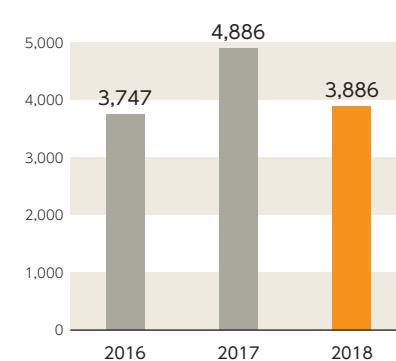
### 総資産

(単位:百万円)



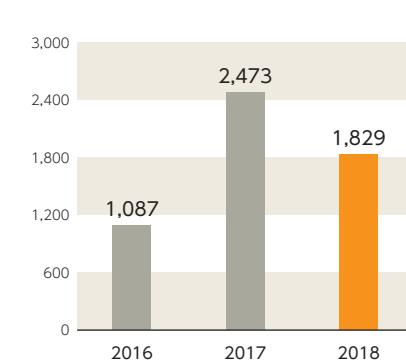
### 株主資本

(単位:百万円)



### 現金残高

(単位:百万円)



※ 2017年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2016年の数値については単体決算の数値を記載しております。

詳細情報は

<https://www.raqualia.co.jp/ir/>

## 株式の状況／会社概要

(2018年12月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	37,068,800株
発行済株式の総数	20,388,389株
株主数	16,232名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
柿沼 佑一	1,221	5.99
ファイザー株式会社	743	3.64
宮澤 一史	600	2.94
MSIP CLIENT SECURITIES	238	1.17
株式会社SBI証券	207	1.02
松井証券株式会社	203	1.00
浴本 久雄	152	0.75
植村 幸雄	143	0.71
田名後 貴裕	110	0.54
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.	104	0.51

### 会社概要

社名	ラクオリア創薬株式会社
所在地	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南一丁目21番19号 名駅サウスサイドスクエア8階
事業内容	医薬品の研究開発 医薬品、臨床開発候補品及びこれらに関わる基盤技術の知的財産の販売及び使用許諾 企業及び大学との生物医学分野における知的財産の開発及び販売を目的とした提携
設立	2008年2月19日
資本金	2,793百万円
従業員	66名(連結)
連結子会社	テムリック株式会社 ラクオリア イノベーションズ株式会社

### 役員 (2019年3月25日現在)

代表取締役	谷 直樹	監査等委員	牧 真之介
取締役	青木 初夫	監査等委員	縣 久二
取締役	河田喜一郎	監査等委員	野元 学二
取締役	渡邊 修造		

### 株主アンケートQ&A

第10期(2017年12月期)株主通信に記載いたしました「株主アンケート」につきまして、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。アンケートにお寄せいただいたご質問の一部につき、回答させていただきます。

**Q1 上場以来赤字が継続している。そろそろ利益を出して欲しいところです。**  
2019年12月期の事業収益計画である約20.2億円並びに黒字化達成に向けて、役職員一同、全社一丸となって取り組んでまいります。

**Q2 胃食道逆流症治療薬tegoprazanの日米欧での導出は可能か?**  
複数の医薬品メーカーなどから臨床試験データの照会等を受けており、引き続き導出に向け鋭意努力してまいります。また、導出先のCJヘルスケア社(韓国)によるサブライセンス活動にも期待しております。

**Q3 医療機関との共同研究は行っていますか?**  
ヴァージニア・コモンウェルス大学(米国)との間で、マイケル・J・フォックス財団の支援を受け、パーキンソン病関連の医師主導治験を行っております。今後も臨床研究の可能性を検討してまいります。

**Q4 業績を伸ばして、配当を出してほしい。**  
当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と認識しております。安定的な収益並びに必要な研究開発資金を確保した上で、将来の内部留保の必要性などを総合的に勘案し、将来的に配当についても検討してまいります。

**Q5 個人株主が広報活動を行っているように見えます。SNSによる情報発信を行うと良いと思います。**  
当社では、限られた人員で、株主対応・法定書類の作成・各種情報開示といった手続きを法令に則って確実に履行することに注力しており、双方向性や即時性が求められるSNSまで対応できない状況です。今後の課題として検討してまいります。

**Q6 ホームページが分かりづらいので改善してほしい。**  
2018年9月にホームページの全面リニューアルを行い、創薬研究やパイプラインのページを拡充いたしました。当社は今後も適切な情報開示に加え、閲覧者の利便性向上に努めてまいります。